

2003年の九州沖縄地域の気象概況

2003年の日本における気象の推移は、1月から3月頃までは気温の変動が大きく、4月から6月頃までは全国的に高温傾向が続いたが、7、8月は南西諸島で高温だったほかはオホーツク高気圧や梅雨前線の影響を受け、北日本を中心として顕著な低温となった。そのため、日本は10年ぶりの冷害となり全国平均の水稻の作況指数は90の「著しい不良」で、1993年の平成大凶作時の74に比べ高かった。9月以降は再び気温の変動が大きくなり、9月、11月が東日本以西を中心に高温となり、11月は特に記録的な高温となった。

一方、九州沖縄地域における気象の1年間の特徴は、九州北部が高温・多雨・寡照であり、九州南部が高温、沖縄地域が高温少雨多照である。北部地域は年気温が高く（0.6℃）、年降水量が多く（109%）、年日照時間が少ない（94%）。また、南部地域は年気温が高く（0.6℃）、年降水量が平年並み（101%）、年日照時間も平年並み（99%）の状況である。

季節情報として、桜の開花は熊本が早く3月20日、福岡が22日であった。梅雨入りは北部、南部がそれぞれ平年より4日、10日遅い、6月9日頃、沖縄が5月14日頃梅雨明けは北部が13日遅い7月31日頃、南部が9日遅い7月22日頃、沖縄が6月21日頃であった。熊本県水俣市では梅雨期間（7月20日）に土石流災害が発生し、19名の尊い命が奪われた。那覇では梅雨明け後の1mm未満の日が6月20日～7月18日の29日間でこれまでの最長となった。また、台風の発生数は、21個と平年より少なく、九州への接近数は5個で平年より多く、九州本土への上陸は4年連続なかった。

2003年における九州沖縄地域の月別気象要素のデータを第1表、福岡・熊本・鹿児島島の旬別気温、降水量と日照時間の平年値の比較を第1図および九州沖縄地域に接近した台風の経路図を第2図に示した。天気概況の推移は以下の通りである。

1. 天気の概況

1) 気温変動の大きい冬季

1月上旬は、期間中頃に冬型の気圧配置が強まり、この冬一番の寒気が流入し、厳しい寒さとなり各地で降雪もあった。中旬は冬型の気圧配置が長続きせず、天気は短い周期で変化した。下旬は低気圧や強い冬型気圧配置の交互の影響で曇りや雨または雪の日が多かった。九州北部は平均気温は低く（平年差-0.5℃）、月降水量平年比が97%の平年並み、月日照時間は少ない（平年比89%）。南部では気温は低く（-0.7℃）、降水量が平年並み（92%）、日照時間も平年並み（95%）である。また、沖縄は平年に比べて気温が低く（-0.9℃）、降水量が少なく（75%）、日照時間がかなり多かった（135%）。

2月上旬は、低気圧は数日おきに九州の南海上や日本海、対馬海峡を通過して、天気は周期的に変化した。旬後半は暖かい空気が流入し、気温が平年より高めに推

移した。中旬は、数日おきに低気圧や寒気の流入の影響を受けて、天気が周期的に変化した。下旬は低気圧と高気圧が交互に通過し、寒気の流入もほとんどなく、気温が平年より大きく上回った。北部は気温が平年より高く（1.3℃）、降水量、日照時間は平年並み（88%、100%）であり、南部も同様であった（1.1℃、71%、100%）。また、沖縄は気温が高く（平年差1.2℃）、降水量が少なく（22%）、日照時間が多かった（127%）。

2) 高温寡照な春季

3月上旬は、2日が移動性高気圧に覆われて晴れたが、その他は低気圧や寒気の影響で、曇りや雨またはみぞれの日が多かった。中旬の天気は期間の中頃に低気圧や前線の影響で曇りや雨となったが、初めと終わりは高気圧に覆われて晴れた。下旬の天気は短い周期で変化した。天気の崩れは小さく、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。北部では気温が平年並み（-0.1℃）、降水量（103%）、日照時間（102%）も平年並みで、南部では気温（-0.2℃）と日照時間（113%）が平年並み、降水量が多かった（116%）。また、沖縄では気温が平年並み（-0.4℃）、降水量がかなり少なく（49%）、日照時間は多かった（118%）。

4月上旬は、前半が九州の南海上を通過する低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、後半は低気圧と高気圧が交互に通過し、天気が周期的に変化した。低気圧通過後も寒気の影響などで曇りや雨の日が多かった。中旬は概ね周期的に変化した。下旬は低気圧や前線と移動性高気圧が交互に通る、天気は概ね周期的に変化した。前線通過後も一時寒気の影響を受けるなど曇りや雨の日が多くなった。北部では気温が高く（1.3℃）、降水量が多く（126%）、日照時間が少ない（84%）。南部では気温が高く（1.3℃）、降水量と日照時間は平年並みであった。また、沖縄は気温が高く（1.1℃）、降水量（67%）と日照時間（88%）が少なかった。

5月上旬は、期間の中頃に低気圧や前線の影響で曇りや雨の天気となったが、初めと終わりは高気圧に覆われて快晴もしくは晴れの天気となった。中旬は前半が九州の南海上に停滞する前線や低気圧の影響で、曇りや雨の日が多かったが、後半は梅雨前線が南西諸島付近まで南下したため、梅雨前線の北側の高気圧に覆われて晴れの日が多かった。下旬は24日～26日が低気圧の影響で、各地で雨が降り、30～31日は台風4号の影響で各地で雨が降った。北部では気温が高く（1.0℃）、降水量が平年並み（107%）、日照時間が少ない（86%）。南部では気温が高く（1.0℃）、降水量が多く（144%）、日照時間が少なく（64%）、宮崎・延岡では月降水量の極値を更新した。また、沖縄は、気温と日照時間が平年並み（0.3℃、97%）で、降水量が少ない（67%）。

3) 多雨寡照な夏季

6月上旬は、東シナ海や日本の東に中心を持つ高気圧

第1表 平成15年（2003年）九州・沖縄の気象，平年値（1971～2000年）との比較

平成15年	福岡					佐賀					長崎					熊本				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
1月本年	5.9	9.1	2.9	86.9	50.0	4.6	8.8	0.7	113.5	56.5	6.4	9.7	3.1	91.7	75.0	4.9	9.5	0.7	125.9	52.0
平年	6.4	9.8	3.2	99.9	72.1	5.2	9.5	0.8	122.9	57.2	6.8	10.3	3.6	106.1	70.3	5.4	10.3	0.8	130.2	60.4
平年差[比]	-0.5	-0.7	-0.3	0.87	0.69	-0.6	-0.7	-0.1	0.92	0.99	-0.4	-0.6	-0.5	0.86	1.07	-0.5	-0.8	-0.1	0.97	0.86
2月本年	8.3	12.1	5.3	123.2	74.5	7.7	12.6	3.5	130.5	74.5	8.7	12.8	5.1	124.7	42.5	8.0	13.1	3.4	130.4	58.0
平年	6.9	10.5	3.5	114.3	71.2	6.3	10.9	2.0	127.5	77.5	7.4	11.0	4.0	115.1	87.5	6.5	11.4	1.7	133.6	77.5
平年差[比]	1.4	1.6	1.8	1.08	1.05	1.4	1.7	1.5	1.02	0.96	1.3	1.8	1.1	1.08	0.49	1.5	1.7	1.7	0.98	0.75
3月本年	9.9	14.0	6.5	146.1	103.0	9.4	14.3	4.9	141.0	109.5	10.5	14.6	6.9	165.1	81.0	10.2	15.8	5.3	176.4	122.0
平年	9.9	14.0	6.1	149.7	108.7	9.5	14.4	4.9	151.1	123.2	10.5	14.4	6.9	148.7	128.8	10.1	15.4	5.0	157.6	134.4
平年差[比]	0.0	0.0	0.4	0.98	0.95	-0.1	-0.1	0.0	0.93	0.89	0.0	0.2	0.0	1.11	0.63	0.1	0.4	0.3	1.12	0.91
4月本年	16.1	20.1	12.6	145.0	144.5	16.1	21.0	11.6	154.4	230.5	16.4	20.2	12.9	141.0	241.5	17.0	22.0	12.3	148.9	246.5
平年	14.8	19.2	10.7	177.2	125.2	14.8	20.2	9.5	172.2	166.1	15.2	19.5	11.4	170.8	161.1	15.5	21.1	10.0	177.0	157.7
平年差[比]	1.3	0.9	1.9	0.82	1.15	1.3	0.8	2.1	0.90	1.39	1.2	0.7	1.5	0.83	1.50	1.5	0.9	2.3	0.84	1.56
5月本年	20.1	24.4	16.6	176.3	110.5	20.6	26.1	16.1	175.5	181.0	20.3	24.3	16.9	169.0	155.5	21.4	26.7	17.0	177.3	176.0
平年	19.1	23.5	15.0	195.0	138.9	19.1	24.5	13.8	186.4	188.0	19.1	23.2	15.5	187.6	176.4	19.7	25.1	14.5	186.1	185.8
平年差[比]	0.9	0.9	1.6	0.90	0.80	1.5	1.6	2.3	0.94	0.96	1.2	1.1	1.4	0.90	0.65	1.7	1.6	2.5	0.95	0.95
6月本年	23.2	27.0	20.1	149.2	200.5	23.2	27.4	19.4	125.7	257.5	22.8	26.2	19.8	129.5	264.0	23.5	27.6	19.8	129.2	364.0
平年	22.6	26.5	20.8	147.6	272.1	22.9	27.5	19.2	138.0	362.8	22.5	26.0	19.6	135.8	360.7	23.2	27.7	19.3	136.7	434.7
平年差[比]	0.6	0.5	-0.7	1.01	0.74	0.3	-0.1	0.2	0.91	0.71	0.3	0.2	0.2	0.95	0.73	0.3	-0.1	0.5	0.95	0.84
7月本年	25.5	28.9	22.9	100.8	444.5	25.6	29.3	22.7	99.3	415.0	26.0	29.0	23.5	114.0	243.0	26.4	30.2	23.5	108.1	589.0
平年	26.9	30.7	24.0	182.7	266.4	26.7	31.2	23.3	167.0	331.8	26.6	29.9	24.1	186.5	329.6	27.0	31.4	23.6	186.6	376.4
平年差[比]	-1.4	-1.8	-1.1	0.55	1.67	-1.1	-1.9	-0.6	0.59	1.25	-0.6	-0.9	-0.6	0.61	0.74	-0.6	-1.2	-0.1	0.58	1.56
8月本年	27.2	30.9	24.5	163.4	232.0	27.5	32.0	23.9	147.7	282.5	27.2	30.7	24.5	175.5	283.5	28.0	32.7	24.7	157.1	362.5
平年	27.6	31.6	24.5	199.3	187.6	27.4	32.1	23.7	190.2	204.3	27.6	31.3	24.8	212.8	207.4	27.7	32.6	23.9	207.0	182.2
平年差[比]	-0.4	-0.7	0.0	0.82	1.24	0.1	-0.1	0.2	0.78	1.38	-0.4	-0.6	-0.3	0.82	1.37	0.3	0.1	0.8	0.76	1.99
9月本年	25.6	29.6	22.4	216.4	69.5	25.3	30.5	21.0	219.3	66.5	25.7	29.7	22.5	288.3	120.0	R26.4	31.9	21.7	R248.9	30.5
平年	23.9	27.8	20.6	157.8	175.0	23.6	28.6	19.4	167.6	182.7	24.3	28.0	21.2	166.3	207.8	24.1	29.0	20.0	167.1	176.8
平年差[比]	1.7	1.8	1.8	1.37	0.40	1.7	1.9	1.6	1.31	0.36	1.4	1.7	1.3	1.37	0.58	2.3	2.9	1.7	1.49	0.17
10月本年	18.8	23.6	14.7	R230.8	11.0	17.8	24.2	12.3	R245.2	6.5	19.0	23.9	14.8	215.7	13.0	18.3	24.5	12.7	231.7	23.0
平年	18.7	23.0	14.7	174.9	80.9	18.1	23.6	13.2	178.1	85.7	19.3	23.4	15.7	179.0	92.6	18.5	24.1	13.5	184.2	86.1
平年差[比]	0.1	0.6	0.0	1.32	0.14	-0.3	0.6	-0.9	1.38	0.08	-0.3	0.5	-0.9	1.21	0.14	-0.2	0.4	-0.8	1.26	0.27
11月本年	R16.1	19.7	12.8	111.1	124.5	15.5	19.7	11.3	119.6	176.0	R16.7	20.3	13.6	117.5	166.0	R16.3	20.9	12.2	119.2	R193.5
平年	13.4	17.6	9.6	133.2	80.5	12.5	17.5	7.9	144.1	66.4	14.0	18.1	10.5	138.2	80.2	12.7	18.3	7.6	151.8	71.4
平年差[比]	2.7	2.1	3.2	0.83	1.55	3.0	2.2	3.4	0.83	2.65	2.7	2.2	3.1	0.85	2.07	3.6	2.6	4.4	0.79	2.71
12月本年	9.3	12.8	6.2	107.0	36.0	7.8	12.5	3.4	144.3	36.5	9.6	13.1	6.2	114.1	33.0	8.0	13.3	3.2	159.3	39.0
平年	8.7	12.5	5.2	116.9	53.8	7.3	12.2	2.6	134.9	42.4	9.1	12.9	5.7	120.9	57.3	7.4	12.8	2.5	146.8	49.4
平年差[比]	0.6	0.3	1.0	0.92	0.67	0.5	0.3	0.8	1.07	0.86	0.5	0.2	0.5	0.94	0.58	0.6	0.5	0.7	1.09	0.79

平成15年	大分					宮崎					鹿児島					沖縄				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
1月本年	5.7	10.2	1.6	157.1	19.5	6.9	12.0	2.1	212.7	34.5	7.4	11.6	3.7	126.1	102.0	15.7	18.4	13.1	123.9	60.5
平年	6.0	10.3	1.9	145.4	47.3	7.4	12.9	2.5	186.1	71.8	8.3	12.6	4.1	136.9	79.4	16.6	19.1	14.3	95.3	114.5
平年差[比]	-0.3	-0.1	-0.3	1.08	0.41	-0.5	-0.9	-0.4	1.14	0.48	-0.9	-1.0	-0.4	0.92	1.28	-0.9	-0.7	-1.2	1.30	0.53
2月本年	7.7	11.9	3.8	136.9	25.0	9.6	14.7	4.7	150.0	66.5	10.4	15.0	6.4	141.2	86.5	18.1	20.8	15.7	107.3	27.0
平年	6.3	10.6	2.1	142.3	68.6	8.4	13.5	3.5	165.8	89.5	9.3	13.5	5.4	129.1	104.9	16.6	19.2	14.3	84.6	125.2
平年差[比]	1.4	1.3	1.7	0.96	0.36	1.2	1.2	1.2	0.90	0.74	1.1	1.5	1.0	1.09	0.82	1.5	1.6	1.4	1.27	0.22
3月本年	9.4	13.7	5.6	171.1	115.0	11.4	16.0	6.8	199.3	199.5	12.2	16.7	8.2	163.7	160.0	18.4	21.3	16.0	127.9	70.0
平年	9.3	13.6	4.8	161.2	114.7	11.6	16.4	6.9	164.3	180.2	12.1	16.5	8.0	145.7	180.7	18.6	21.3	16.2	108.9	159.6
平年差[比]	0.1	0.1	0.8	1.06	1.00	-0.2	-0.4	-0.1	1.21	1.11	0.1	0.2	0.2	1.12	0.89	-0.2	0.0	-0.2	1.17	0.44
4月本年	15.7	20.1	11.5	155.5	132.0	17.8	22.3	13.3	167.3	233.5	18.1	22.8	14.3	166.4	184.0	22.6	25.3	20.7	109.1	112.5
平年	14.2	19.0	9.5	180.6	130.2	16.2	20.9	11.6	169.5	217.8	16.8	21.3	12.6	160.5	227.7	21.3	24.0	18.9	134.1	180.7
平年差[比]	1.5	1.1	2.0	0.86	1.01	1.6	1.4	1.7	0.99	1.07	1.3	1.5	1.8	1.04	0.81	1.3	1.3	1.8	0.81	0.62
5月本年	19.0	23.0	15.6	142.8	251.5	20.4	23.9	17.2	97.1	R580.0	21.6	25.4	18.6	116.0	157.5	24.4	27.4	22.3	131.4	130.5
平年	18.4	23.1	13.9	185.1	142.7	19.8	24.3	15.5	174.6	250.3	20.2	24.5	16.7	171.0	232.2	23.8	26.4	21.5	149.5	233.8
平年差[比]	0.6	-0.1	1.7	0.77	1.76	0.6	-0.4	1.7	0.56	2.32	1.4	0.9	1.9	0.68	0.68	0.6	1.0	0.8	0.88	0.56
6月本年	22.2	26.1	19.0	124.0	241.5	23.1	26.5	20.0	101.4	701.5	23.7	26.8	21.0	101.4	551.5	26.6	29.2	24.7	183.9	222.0
平年	22.1	26.1	18.5	142.4	294.2	23.2	27.0	19.8	138.9	417.5	23.6	27.2	20.6	122.4	442.9	26.6	29.2	24.6	182.2	211.6
平年差[比]	0.1	0.0	0.5	0.87	0.82	-0.1	-0.5	0.2	0.73	1.68	0.1	-0.4	0.4	0.83	1.25	0.0	0.0	0.1	1.01	1.05
7月本年	25.4	29.2	22.5	119.5	219.5	27.3	31.4	23.8</												

に覆われやすく、晴れの日が多かった。9日は今後も曇りや雨の日が多くなる見込みで九州本土の梅雨入りが発表された。中旬は、13日と20日に晴れた他は、低気圧や梅雨前線、台風の影響で曇りや雨となった。下旬は、梅雨前線が九州付近に停滞することが多く、曇りや雨の日が多くなった。北部では気温が高く（0.4℃）、降水量と日照時間は平年並み（84%、95%）であった。南部では気温が平年並み（0.1℃）、降水量が多く（144%）、日照時間は少ない（80%）。また、沖縄は気温が平年並み（-0.4℃）、降水量がかなり少なく（19%）、日照時間がかなり多かった（121%）。

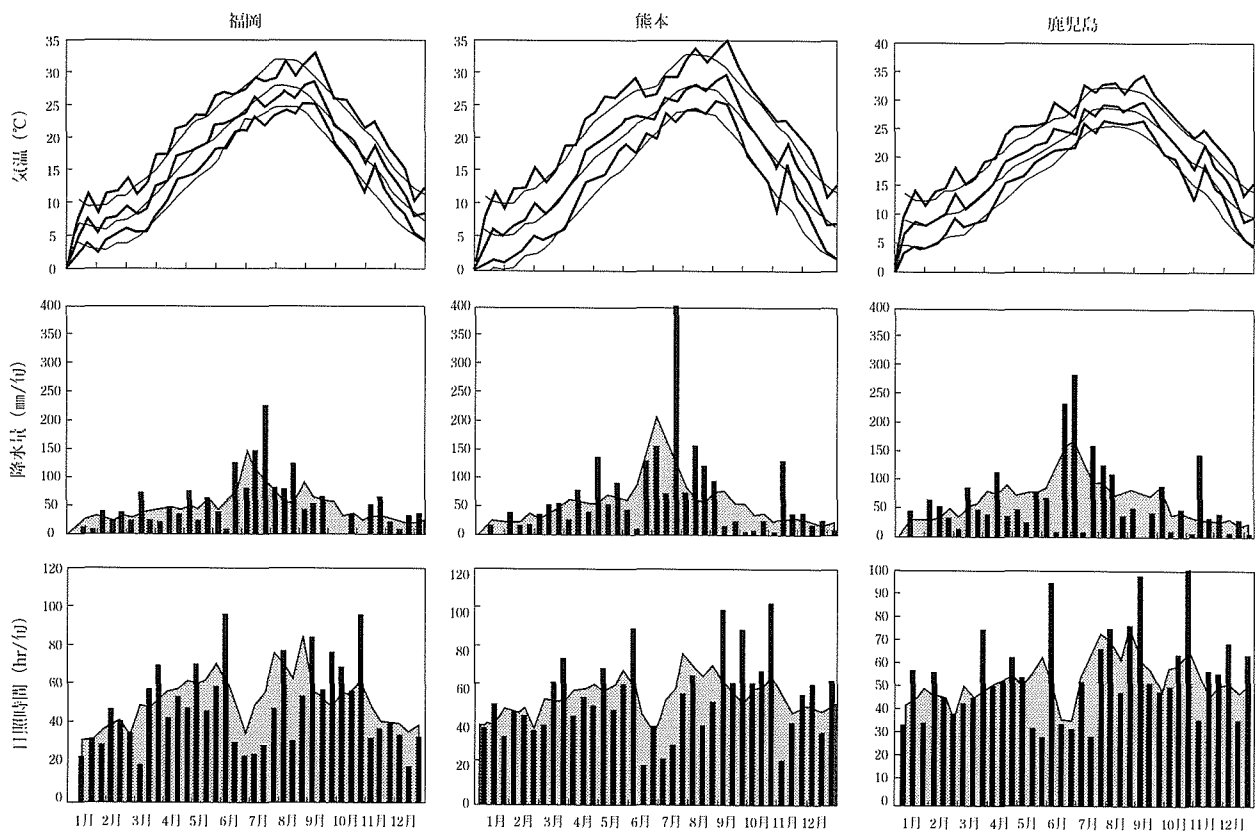
7月上旬は、梅雨前線が九州北部から対馬海峡付近に停滞することが多く、曇りや雨の日が続いた。中旬は梅雨前線が九州北部から対馬海峡に停滞して曇りや雨の日が多く、期間の初めと終わりを中心に前線の活動が強まり大雨が降った。日降水量が200mmを超える大雨となる県が多く、水俣市で土石流災害が発生した。下旬の前半は梅雨前線の影響で曇りや雨となり、後半は北から高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。このため、大豆の播種作業の遅れが見込まれ、収量への影響が心配された。北部では気温が低く（-1.0℃）、降水量が多く（158%）、日照時間が少ない（56%）。南部では気温が平年並み（0.2℃）、降水量が少なく（51%）、日照時間が少ない（84%）。また、沖縄は気温がかなり高く（1.2℃）、降水量がかなり少なく（19%）、日照時間がかなり多い（121%）。

8月上旬は、6日まで太平洋高気圧に覆われおおむね

晴れの日が続いたが、4日から5日は強い日射の影響で大気の状態が不安定となったため、筑後地方を中心に雨となった。また、7～9日にかけて九州南海上から四国、近畿地方に通過した台風10号の影響で各地に雨が降った。中旬は前線が九州付近に停滞しやすく、18日まで曇りや雨のぐずついた天気が続いた。下旬は、期間の初めが太平洋高気圧に覆われ、晴れて暑い日が続いたが、中頃からは前線が対馬海峡から九州北部に停滞しやすく、曇りや雨の日が多かった。北部では、気温が平年並み（-0.1℃）、降水量が多く（158%）、日照時間が少ない（80%）。南部では、気温が高く（0.3℃）、降水量が平年並み（107%）、日照時間が少ない（92%）。また、沖縄は気温がかなり高く（1.1℃）、降水量が少ない（61%）、日照時間が平年並み（103%）である。

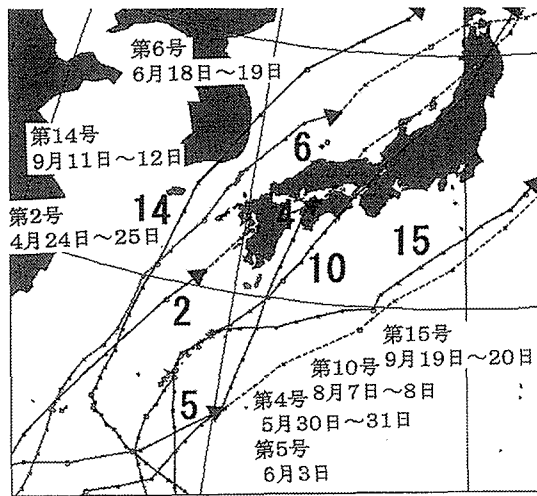
4) 11月が記録的な高温の秋季

9月上旬は太平洋高気圧に覆われることが多く、9日まで晴れの日が続いた。多くの観測地点で最高気温が連日30℃を超え、厳しい残暑であった。中旬は期間の初めと終わりに台風や前線の影響で曇りや雨の日があったが天気の崩れが小さく、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。下旬は高気圧に覆われ、晴れの日が多かった。このため、水稻は普通期水稻の登熟期間中で、天候に恵まれた状態である。北部では、気温が高く（1.6℃）、降水量が少ない（44%）、日照時間が多く（140%）、その中で熊本は気温と日照時間、阿蘇山が日照時間の極値を更新した。南部では、気温が高く（1.2℃）、降水量が少ない（43%）、日照時間が多い（136%）。また、沖縄は



第1図 2003年の福岡・熊本・鹿児島島の気象概況

注) 細線は平年値、太線と棒柱は2003年の値である。



第2図 九州沖縄地域に影響した主な台風の経路図
(福岡管区気象台提供)

気温がかなり高く (1.1℃), 降水量が平年並み (110%), 日照時間が多い (112%)。

10月上旬は, 高気圧に覆われて晴れの日が多かった。中旬は期間前半に低気圧や前線の影響で曇りや雨となる日があったが, その他は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。下旬は概ね高気圧に覆われて晴れの日が多くなり, 9月中旬以降降雨の少ない状況が続き, 九州北部地域に少雨に関する気象情報を発表した。北部では, 気温が平年並み (-0.3℃), 降水量が少ない (21%), 日照時間が多く (127%), 福岡, 佐賀は日照時間の極値を更新した。南部では, 気温が平年並み (-0.5℃), 降水量が少ない (64%), 日照時間が多い (121%)。また, 沖縄は気温が平年並み (-0.1℃), 降水量が平年並み (79%), 日照時間が多い (112%)。

11月上旬は南からの湿った空気や前線と九州南部に停滞する前線の影響を受けて曇りや雨の日が多かった。中旬は高気圧や低気圧が交互に通過し, 天気は周期的に変化した。下旬は期間の前半が移動性高気圧に覆われ晴れの日が多かったが, 後半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。このため, 麦の播種作業が遅延したところがあった。北部では気温が高く (2.9℃), 降水量が多く (212%), 日照時間が少ない (84%)。その中で, 気温の極値更新は福岡・長崎・大分・熊本等の観測点である。南部では気温が高く (3.1℃), 降水量が多く (229%), 日照時間が少ない (85%)。気温の極値の更新は鹿児島・宮崎等の観測点である。また, 沖縄では気温がかなり高く (1.6℃), 降水量が多く (142%), 日照時間がかなり少ない (76%)。

5) 一般的な冬季

12月上旬は2~4日にかけて高気圧に覆われ晴れたが, 5~6日に低気圧が通過し, その後は冬型の気圧配置となって曇りの日が多かった。中旬は冬型の気圧配置となって曇りや雨または雪の日が多かった。下旬は期間の前半が高気圧に覆われ晴れの日が多かったが, 後半は高気圧や前線が交互に通過し天気は数日周期で変化した。北部では気温が平年並み (0.5℃), 降水量が平年並み (73%), 日照時間が平年並み (98%)。南部では, 気温が平年並み (0.4℃), 降水量が平年並み (68%), 日照

時間が多い (115%)。また, 沖縄では, 気温が平年並み, 降水量がかなり少なく, 日照時間が平年並みである。

2. 10年ぶりの低温・日照不足な夏と農業被害

1993年の冷夏から10年ぶりの本年は冷夏となった。北日本では冷害による水稲の不作となり, 2003年の農業概況は, 長引いた低温と日照不足により水稲の生育収量は大きな影響を受けた。農林水産省の取りまとめた5月以降の低温による農作物被害概況は全国の被害面積が231万 ha で, 被害総額が3,807億円に及ぶとみられている。作物別の被害見込額は水稲が2,983億円, 野菜類が274億円, 果樹類が157億円, 雑穀・豆類が146億円と見込まれた²⁾。

一方, 九州沖縄地域でみると, 梅雨期間の後半7月20日において大気状態が非常に不安定になり, 熊本県南部を中心に大雨が降り, 日降水量は水俣228mm, 一里山197mm, 八代173mmを観測した。特に, 水俣では01時50分までの1時間に81mmの猛烈な雨が降り, 水俣市宝川内集地区と深川地区で土石流が発生し, 死者19名, 家屋, 農地 (水田・果樹園) の流失等の多大な被害が発生した。これほどの被害は, 1998年台風18号による高潮被害に匹敵するものであった。また, 9月11日の台風14号は沖縄県宮古島に襲来し, 最大瞬間風速が北風の74.1m/s, 最大風速38.4m/sと日降水量285mm(極値更新)を記録し, 農作物や家屋等に多大なる被害を与えた¹⁾。

3. むすび

九州沖縄地域における2003年の天候は, 夏季の低温・日照不足で推移し, 水稲の作況指数の低下, 大豆や麦の播種の遅延等が発生し, 収量への影響がみられた。このような冷夏の予測が長期予報から判断できれば対策も可能となる。そのような報告が最近みられるようになった。東北農研からの成果情報「北日本の夏の天候が5年周期で変動している」³⁾として報告がある。今後, このような長期的な予報精度が確立されることを期待される。

参考文献

- 1) 沖縄地方気象台編 (2003) 速報, 平成15年台風第14号について. 沖縄地方気象台, p14.
- 2) 大場和彦 (2004) 気候変動下における九州地域の水稲の生育概況と生産力. 九州沖縄推進会議生産環境部会資料, p7.
- 3) 菅野洋光 (2004) 主要研究成果情報農業気象部会, 206.

(九州沖縄農業研究センター環境資源研究部 大場和彦)